

防災マップの使い方・目次

防災対策は万全ですか？

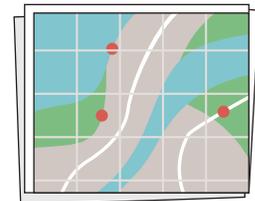
地震や風水害などの自然災害の発生を防ぐことはできませんが、日頃からの備えによって被害を減らすことはできます。そのためには、行政などによる防災対策である「公助」ばかりでなく、自分の命は自分で守る「自助」、身近な人同士で助け合う「近助」、地域全体で助け合う「共助」が欠かせません。

いざという時に備えて、非常時持ち出し品の準備や家屋の耐震改修、家具の固定など、まずは身の回りの安全対策からはじめましょう。災害が発生した場合を想定して、どこに避難すればよいか、家族とはどう連絡を取り合うかなどについて事前に家族で話し合っておくことも大切です。地域の自主防災組織の活動にも積極的に参加し、防災訓練などを通じて災害時の協力体制を確認しましょう。

この防災マップには、防災・減災に関する情報をはじめ、避難場所・避難所の位置や浸水被害・土砂災害の発生する危険のある箇所を地図上に示しています。

防災マップの使い方

- 1 自宅周辺の災害想定を確認しましょう**
災害が想定される位置を確認しましょう。自宅がある場所は、どのような災害が想定されているのかを地図をみて確認しましょう。
- 2 自宅周辺の避難場所・避難所を確認しましょう**
災害に応じた避難場所・避難所を地図で確認しましょう。
- 3 災害想定区域を避けて、避難経路を決めましょう**
避難経路は浸水被害や土砂災害などの災害が想定される場所を避けるようにしましょう。
- 4 実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう**
家庭や地域で話し合いながら、避難訓練などで実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。



目次

■ 避難情報	1	■ マイ・タイムライン（風水害）	15
■ 風水害・台風	2	■ 自主防災組織と災害時要配慮者への対応	16
■ 河川氾濫（洪水）・土砂災害	3	■ 指定緊急避難場所・指定避難所	17～20
■ 地震	4	■ 福祉避難所・津波避難ビル	21
■ 津波・高潮	5	■ 要配慮者利用施設一覧	22
■ 南海トラフ地震臨時情報	6・7	■ 防災マップの見方	23
■ 火災と原子力災害	8	■ 津久見市防災マップ	
■ 特別警報&防災情報の収集	9	全体図（洪水・土砂災害ハザードマップ）	24・25
■ 避難時に注意すること	10	洪水・土砂災害ハザードマップ	26～53
■ 避難行動判定フロー	11	全体図（津波・高潮想定マップ）	54・55
■ 防災対策とチェック	12	津波想定マップ	56～69
■ 非常時持ち出し品の準備とチェック	13	高潮想定マップ	70～73
■ 個別避難計画（個別台帳）	14	■ 緊急時の連絡先・家族との連絡	裏表紙

津久見市総合防災マップ 令和7年3月発行

発行・お問い合わせ先：津久見市 防災危機管理室 TEL 0972-82-9500
制作・印刷：(株)ゼンリン大分営業所 TEL 097-534-0879

この地図は津久見市長の承認を得て、同市発行の1/2500津久見市都市計画図を使用して調製したものである。(承認番号)津まち第1011001号
「この地図は大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号24-41号 平成24年8月3日)」
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 167-443号」
「JIS Z 8210 広域避難場所、避難所(建物)」

※この冊子の記事及び地図に掲載されている防災情報は2025年3月現在のものです。最新の情報は津久見市のホームページよりご確認ください。

(禁無断複製)©2025 ZENRIN CO., LTD.